

## 令和6年版 治山林道必携 積算施工編 の訂正について（ご案内）

お客様におかれましては、当協会発行の書籍をご利用いただきありがとうございます。さて、令和6年8月に発行いたしました標記書籍につきましては、林野庁が発表した改正・正誤表等を踏まえ、訂正を要する事項が判明したこと、出来形管理基準及び規格値の表の該当ページにページずれが確認されましたので、以下のとおり謹んでお知らせ致します。

皆様にはご不便をおかけしますこととお詫び申し上げます。

令和7年3月3日作成 第3版a

## 【 上 卷 】

### (訂正箇所) 上巻 巻頭目次

- (誤) 9 森林整備保全事業における施工パッケージ型積算方式の試行 … 1298  
10 森林整備保全事業数量算出要領(施工パッケージ型積算方式) … 1859
- (正) 9 森林整備保全事業における施工パッケージ型積算方式の試行 … 1291  
10 森林整備保全事業数量算出要領(施工パッケージ型積算方式) … 1865

### (訂正箇所) 上巻21ページ 積算要領 第6 1 (2) ア (i) a (a) 3行目

- (誤) 「表6-5 工種区分別共通仮設費率標準値表」  
(正) 「表6-5 工種区分別共通仮設費率」

### (訂正箇所) 上巻147ページ 週休2日 標題下

- (誤) [最終改正] 令和3年7月20日付け3林整計第246号  
(正) [最終改正] 令和6年4月9日付け6林整計第23号

### (訂正箇所) 上巻147ページ 週休2日 最下行

- (誤) 附則 この通知は、令和3年4月1日から適用する。  
(正) 附則 この通知は、令和6年4月1日から適用する。

### (訂正箇所) 上巻148ページ 週休2日 第1 2 (4) 4週8休以上

- (誤) ~をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- (正) ~をいう。ただし、対象期間において暦上の土曜日・日曜日の閉所では 28.5%に満たない場合は、対象期間内の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。  
なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

### (訂正箇所) 上巻149ページ 週休2日 第1 2 (7) 復興係数

- (誤) 東日本大震災、平成28年熊本地震及び平成30年7月豪雨における復興係数をいう。  
(正) 東日本大震災及び平成28年熊本地震における復興係数をいう。

### (訂正箇所) 上巻149ページ 週休2日 第1 4 (1) 補正係数

- (誤) ~、対象期間中の現場の閉所状況に応じて、~  
(正) ~、対象期間中の現場閉所率に応じて、~

(訂正箇所) 上巻150ページ 週休2日 第1 4 (1) ウ 市場単価

(誤) ～、表2に掲げる現場閉所の状況に応じた補正係数を乗じるものとする。

(正) ～、表2に掲げる補正係数を乗じるものとする。

(訂正箇所) 上巻150ページ 週休2日 第1 4 (1) エ 共通仮設費率 オ 現場管理費率

(誤) エ 共通仮設費率 (略)

オ 現場管理費率 (略)

(正) エ 土木工事標準単価

土木工事標準単価に施工条件等による補正係数を乗じて算出した設計単価に、表3に掲げる補正係数を乗じるものとする。

表3

名称	区分	4週8休以上	4週7休以上 4週8休未満	4週6休以上 4週7休未満
区画線工		1.05	1.03	1.01
排水構造物工		1.05	1.03	1.01
コンクリートブロック積工		1.05	1.03	1.01
構造物取りこわし工	機械	1.04	1.03	1.01
	人力	1.05	1.03	1.01

オ 共通仮設費率 (略)

カ 現場管理費率 (略)

(訂正箇所) 上巻152ページ 週休2日 第2 2 (6) 復興係数

(誤) 東日本大震災、平成28年熊本地震及び平成30年7月豪雨における復興係数をいう。

(正) 東日本大震災及び平成28年熊本地震における復興係数をいう。

(訂正箇所) 上巻153ページ 週休2日 第2 4 (1) 表3

(誤) 表3 (略)

(正) 表4 (略)

(訂正箇所) 上巻153ページ 週休2日 第2 4 (1) イ 現場管理費率

(誤) イ 現場管理費率

(略)

前項により算出された現場管理費率に、復興係数及び表3に掲げる～

(正) イ 市場単価

市場単価に施工条件等による加算率及び補正係数を乗じて算出した設計単価に、表2に掲げ

る補正係数を乗じるものとする。

ウ 土木工事標準単価

土木工事標準単価に施工条件等による補正係数を乗じて算出した設計単価に、表5に掲げる補正係数を乗じるものとする。

表5

名 称	区 分	4週8休以上	4週7休以上 4週8休未満	4週6休以上 4週7休未満
区画線工		1.05	1.03	1.01
排水構造物工		1.04	1.02	1.01
コンクリートブロック積工		1.04	1.03	1.01
構造物取りこわし工	機械	1.04	1.02	1.01
	人力	1.05	1.03	1.01

エ 現場管理費率

(略)

前項により算出された現場管理費率に、復興係数及び表4に掲げる～

(訂正箇所) 上巻179ページ 標準歩掛 目次 第1編 第1

(誤) 1-8 盛土

(正) 1-8 盛土工

(訂正箇所) 上巻180ページ 標準歩掛 目次 第1編 第2

(誤) 5-10-2 小車運搬歩掛 ..... 288

(正) 5-10-2 小車運搬歩掛 ..... 289

(訂正箇所) 上巻181ページ 標準歩掛 目次 第1編 第4

(誤) 4-2 モルタル・コンクリート吹付工 ..... 350

4-2-1 留意事項 ..... 350

4-2-2 モルタル吹付工 ..... 350

(略)

4-4 種子吹付工 ..... 388

(正) 4-2 モルタル・コンクリート吹付工 ..... 360

4-2-1 留意事項 ..... 360

4-2-2 モルタル吹付工 ..... 360

(略)

4-4 種子吹付工 ..... 389

(訂正箇所) 上巻183ページ 標準歩掛 目次 第1編 第5

- (誤) 5-17 大型ふとんかご工 ..... 488  
5-17-1 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (A) ..... 488  
(正) 5-17 大型ふとんかご工 ..... 489  
5-17-1 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (A) ..... 489

(訂正箇所) 上巻183ページ 標準歩掛 目次 第1編 第7

- (誤) 7-1-6 木製校倉式土留工 ..... 553  
(正) 7-1-6 木製校倉式土留工 ..... 553  
7-1-7 (参考歩掛) 木製枠工 (ユニット式) ..... 556

(訂正箇所) 上巻185ページ 標準歩掛 目次 第1編 第7

- (誤) 7-10-4 (参考歩掛) まく板パネル型枠  
7-10-4 (参考歩掛) 角材式残存型枠工  
(略)  
7-12-1 (参考歩掛) 木製治山ダム工

(訂正箇所) 上巻185ページ 標準歩掛 目次 第1編 第7

- (誤) 7-10-4 まく板パネル型枠工  
7-10-4 角材式残存型枠工  
(略)  
7-12-1 木製治山ダム工

(訂正箇所) 上巻366ページ 標準歩掛 第1編 第4 4-2-3 (7) 2) 機械運転単価表  
表中 空気圧縮機の列 指定事項欄 1行目  
発動発電機の列 指定事項欄 1行目

- (誤) 燃料消費量→81  
燃料消費量→36  
(正) 燃料消費量→69  
燃料消費量→31

(訂正箇所) 上巻435ページ 標準歩掛 第1編 第5 5-5-2 (8) 4) 機械運転単価表  
表中 指定事項欄 2行目

- (誤) 燃料消費量→69  
(正) 燃料消費量→68

(訂正箇所) 上巻523ページ 標準歩掛 第1編 第6 6-1-6 6(3) 機械運転単価表  
表中 クローラクレーンの行 規格欄(2欄)

- (誤) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t 吊  
油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 80 t 吊
- (正) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 50~55 t 吊  
油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 80 t 吊

(訂正箇所) 上巻697ページ 標準歩掛 第1編 第8 8-11-1 4(5) 機械運転単価表  
(水上施工) 表中 杭打ち用ウォータージェットの行 規格欄

- (誤) エンジン式・排出ガス対策型(第1次基準値)
- (正) エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値)

(訂正箇所) 上巻708ページ 標準歩掛 第1編 第8 8-11-3 3(1)② 表3.2  
表中 ラフテレーンクレーンの行 圧入(50<Nmax≦600)欄

- (誤) 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 50~51 t 吊(注)2
- (正) 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制) 50~51 t 吊(注)2

(訂正箇所) 上巻830ページ 標準歩掛 第2編 第2 2-1-5 (6)4 機械運転単価  
表中 指定事項欄 5行目

- (誤) 単位→m・b
- (正) 単位→m・h

(訂正箇所) 上巻874ページ 標準歩掛 第2編 第3 3-7(1)そだ伏工歩掛 表の上書

- (誤) (10m<sup>2</sup>当たり)
- (正) (10m当たり)

(訂正箇所) 上巻1062ページ 標準歩掛 第3編 第3 3-1 3(2)

- (誤) 工場製作における工数単価(直接労務費)は28,700円とする。
- (正) 工場製作における工数単価(直接労務費)は29,500円とする。

(訂正箇所) 上巻1317 ページ 施工パッケージ 目次 1章 ③⑩ 穀運搬

(誤) 2 施工パッケージ ..... 1656

(正) 2 施工パッケージ ..... 1566

(訂正箇所) 上巻1318 ページ 施工パッケージ 目次 7章 ④

(誤) 踏掛板

(正) 踏掛板設置工

(訂正箇所) 上巻1380 ページ 施工パッケージ 1章 ⑧ 3 3-1 (2) 表3. 2

表中 バックホウ/構造物基礎/機械/K2 の行 代表機劣材規格欄

(誤) 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式・低騒音型] 質量0.6~0.8 t

(正) 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式・低騒音型] 質量0.6~0.7 t

(訂正箇所) 上巻1632 ページ 施工パッケージ 6章 ② 3 3-1 (2) 表3. 4

表中 機械/K3 の行 代表機劣材規格欄

(誤) グラウトポンプ [横型二筒複動ピストン式] 吐出量200L/min

(正) グラウトポンプ [二筒複動ピストン式] 吐出量200L/min

(訂正箇所) 上巻1872 ページ 数量算出要領 目次 第2編 第9章 ⑰

(誤) トンネル漏水対策

(正) トンネル漏水対策工

(訂正箇所) 上巻1926 ページ 数量算出要領 第2編 第2章 ⑬

(誤) ⑬ 補強盛土

(正) ⑬ 補強盛土工

(訂正箇所) 上巻1951 ページ 数量算出要領 第2編 第2章 ⑳ 1.

(誤) 目地板、シール材、止水板の設置作業に適用する。

(正) 目地板、止水板、シール材の設置作業に適用する。

【 下 卷 】

(訂正箇所) 下巻2 ページ 建設機械経費積算要領 目次

(誤) 別表第3 燃料消費率表 ..... 373  
 別表第4 建設機械の消耗部品の損耗費及び補修費表 ..... 381  
 参 考 ..... 383

(正) 別表第3 燃料消費率表 ..... 369  
 別表第4 建設機械の消耗部品の損耗費及び補修費表 ..... 376  
 参 考 ..... 379

(訂正箇所) 下巻13 ページ 建設機械経費積算要領 別表第2 さくいん <ケ>

(誤) 桁吊り金具 (P C橋用) ..... 282  
 (正) 桁吊り金具 (P C橋用) ..... 284

(訂正箇所) 下巻50～53 ページ 建設機械経費積算要領 別表第2 02 掘削及び積込機

- (誤) ※ 該当各ページ  
 (正) ※ 別紙50～61 ページに差し替え

(訂正箇所) 下巻352 ページ 建設機械経費積算要領 別表第2 船舶損料算定表 3行目

(誤)

3203	曲管		
	010	[鋼製]	
	030		径 300mm
		035	350mm

(正)

3203	曲管		
	010	[鋼製]	
		030	径 300mm
		035	350mm

(訂正箇所) 下巻 354 ページ 建設機械経費積算要領 別表第 2 船舶損料算定表 12 行目

(誤)

3211	汚濁防止枠 (巻上ウインチ有)		
	010	[鋼製]	
	005	2.5~5 m <sup>3</sup> 用 14×14m	

(正)

3211	汚濁防止枠 (巻上ウインチ有)		
	010	[鋼製]	
	005	2.5~5 m <sup>3</sup> 用 14×14m	

(訂正箇所) 下巻 376 ページ 建設機械経費積算要領 別表第 4

(誤)

装着機械	消耗部品			1 時間当たり					
				損耗費率及び補修費率 (×10 <sup>-6</sup> )			損耗費及び補修費 (円)		
				良好	普通	不良	良好	普通	不良
機械名	規格 (t)	名称	基礎価格 (円/set)						
ダンプトラック	2~3	タイヤ	136,000	259	425	989	35	58	135
	4	〃	170,000	297	481	1,105	50	82	188
	6~7	〃	206,000	334	534	1,212	69	110	250
	8	〃	244,000	334	534	1,212	81	130	296
	10	〃	433,000	334	534	1,212	145	231	525
	12	〃	516,000	334	534	1,212	172	276	625
	20~25	〃	2,330,000	416	506	702	969	1,180	1,640
	32~37	〃	3,270,000	545	655	892	1,780	2,140	2,920
	46~55	〃	6,510,000	545	655	892	3,550	4,260	5,810
	78~95	〃	12,000,000	545	655	892	6,540	7,860	10,700

備考 1~4 (略)

(正)

装着機械	消耗部品			1 時間当たり					
				損耗費率及び補修費率 (×10 <sup>-6</sup> )			損耗費及び補修費 (円)		
				良好	普通	不良	良好	普通	不良
機械名	規格 (t)	名称	基礎価格 (円/set)						
ダンプトラック	2~3	タイヤ	136,000	290	475	1,107	39	65	151
	4	〃	170,000	333	537	1,236	57	91	210
	6~7	〃	206,000	374	597	1,356	77	123	279
	8	〃	244,000	374	597	1,356	91	146	331
	10	〃	433,000	374	597	1,356	162	259	587
	12	〃	516,000	374	597	1,356	193	308	700
	20~25	〃	2,330,000	467	565	785	1,090	1,320	1,830
	32~37	〃	3,270,000	610	732	998	1,990	2,390	3,260
	46~55	〃	6,510,000	610	732	998	3,970	4,770	6,500
	78~95	〃	12,000,000	610	732	998	7,320	8,780	12,000

備考 1~4 (略)

5 本表はダンプトラック (オフロード・アーティキュレート式) のタイヤには適用しない。

(訂正箇所) 下巻 377 ページ 建設機械経費積算要領 別表第 4

(誤)

装着機械	消耗部品			供用 1 日当たり					
				損耗費率及び補修費率 (×10 <sup>-6</sup> )			損耗費及び補修費 (円)		
	機械名	規格 (t)	名称	基礎価格 (円/set)	良好	普通	不良	良好	普通
ダンプトラック	2~3	タイヤ	136,000	1,196	1,958	4,561	163	266	620
	4	"	170,000	1,370	2,217	5,095	233	377	866
	6~7	"	206,000	1,540	2,460	5,587	317	507	1,150
	8	"	244,000	1,540	2,460	5,587	376	600	1,360
	10	"	433,000	1,540	2,460	5,587	667	1,070	2,420
	12	"	516,000	1,540	2,460	5,587	795	1,270	2,880
	20~25	"	2,330,000	1,643	2,000	2,771	3,830	4,660	6,460
	32~37	"	3,270,000	2,152	2,586	3,524	7,040	8,460	11,500
	46~55	"	6,510,000	2,152	2,586	3,524	14,000	16,800	22,900
	78~95	"	12,000,000	2,152	2,586	3,524	25,800	31,000	42,300

(正)

装着機械	消耗部品			供用 1 日当たり					
				損耗費率及び補修費率 (×10 <sup>-6</sup> )			損耗費及び補修費 (円)		
	機械名	規格 (t)	名称	基礎価格 (円/set)	良好	普通	不良	良好	普通
ダンプトラック	2~3	タイヤ	136,000	1,339	2,190	5,106	182	298	694
	4	"	170,000	1,534	2,476	5,698	261	421	969
	6~7	"	206,000	1,725	2,751	6,254	355	567	1,290
	8	"	244,000	1,725	2,751	6,254	421	671	1,530
	10	"	433,000	1,725	2,751	6,254	747	1,190	2,710
	12	"	516,000	1,725	2,751	6,254	890	1,420	3,230
	20~25	"	2,330,000	1,843	2,233	3,100	4,290	5,200	7,220
	32~37	"	3,270,000	2,410	2,890	3,943	7,880	9,450	12,900
	46~55	"	6,510,000	2,410	2,890	3,943	15,700	18,800	25,700
	78~95	"	12,000,000	2,410	2,890	3,943	28,900	34,700	47,300

(訂正箇所) 下巻 723~727 ページ 森林土木工事における施工性の高い工種・工法の適用促進について

※ 上巻 169~173 ページとの重複掲載となっています。内容は同じです。

(訂正箇所) 下巻 790 ページ 工事標準仕様書 目次 第 6 編

(誤) 第 3 章 橋梁下部 ..... 1207

(正) 第 3 章 橋梁下部 ..... 1208

(訂正箇所) 下巻 1323 ページ~1341 ページの「出来形管理基準及び規格値」一覧表右端のページ欄の全て

(誤) ※ 該当各ページ

(正) ※ 別紙 1323 ページ~1341 ページに差し替え

(訂正箇所) 下巻1667 ページ 設計変更等ガイドライン 最下部4行

(誤) 別紙1 設計変更等ガイドライン (工事編) ..... 1642

別紙2 工事一時中止ガイドライン ..... 1657

(編注)

別紙3は、令和5年版治山林道必携 調査・測量・設計編に掲載しています。

(正) 別紙1 設計変更等ガイドライン (工事編) ..... 1668

別紙2 工事一時中止ガイドライン ..... 1683

(編注)

別紙3は、令和6年版治山林道必携 調査・測量・設計編に掲載しています。

(訂正箇所) 下巻1743 ページ ICT 活用工事 (土工) 試行実施要領 表-1 標題

(誤) ≪表-1 ICT 施工技術工事と適用工種 (その1) ≫

(正) ≪表-1 ICT 施工技術と適用工種 (その1) ≫

(訂正箇所) 下巻1745 ページ ICT 活用工事 (土工) 試行実施要領 第2 1 本文

(誤) ～「施工者希望型」～

(正) ～「受注者希望型」～

(訂正箇所) 下巻1745 ページ ICT 活用工事 (土工) 試行実施要領 第3 3 (1) 4行目

(誤) ～以下の①～④に基づく積算～

(正) ～以下の①～⑥に基づく積算～

(訂正箇所) 下巻1776 ページ ICT 活用工事 (法面工) 試行実施要領 第2 1 (1) 冒頭欄外

(追加) 【特記仕様書】記載例

(訂正箇所) 下巻1776 ページ ICT 活用工事 (法面工) 試行実施要領 第2 1 (1)

【特記仕様書】記載例 7～21 行目

(誤) ① 3次元起工測量 (法面整形工のみ)

② 3次元設計データ作成

③ ICT建設機械による施工

(略)

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則 (平成20年国土交通省告示第413号) 付録1 測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。

(正) ① 3次元起工測量

② 3次元設計データ作成

③ ICT建設機械による施工（法面整形工のみ）

④ 3次元出来形管理等の施工管理

⑤ 3次元データの納品

2 受注者は、ICT活用工事を希望する場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員と協議を行い、協議が整った場合に4～8によりICT活用工事を行うことができる。

3 本工事においては1①～⑤の段階でICT施工技術を活用することとし、法面工等の施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び対象範囲を監督職員と協議するものとする。  
なお、実施内容等について施工計画書に記載するものとする。

4 ICT施工技術を用い、以下の施工を実施する。

① 3次元起工測量

受注者は、起工測量に当たって、ICTを用いた起工測量または従来手法による起工測量が選択できる。

ICTを用いた起工測量としては、3次元測量データを取得するため、以下の（1）～（8）から選択（複数以上可）して測量を行うことができるものとする。

（1）空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量

（2）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量

（3）TS等光波方式を用いた起工測量

（4）TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量

（5）RTK-GNSSを用いた起工測量

（6）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量

（7）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量

（8）その他の3次元計測技術を用いた起工測量

② 3次元設計データ作成

受注者は、設計図書や起工測量で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。

③ ICT建設機械による施工

（略）

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和5年3月31日国土交通省告示第250号）付録1 測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。

（訂正箇所） 下巻1778ページ ICT活用工事（法面工）試行実施要領 第2 1 （1）

【特記仕様書】記載例 14行目

（誤） ～ICT活用工事（法面工）積算要領～

（正） ～ICT活用工事（法面工）試行積算要領～

(訂正箇所) 下巻 1851 ページ ICT 活用工事 (擁壁工) 試行実施要領 第 1 3 表-1  
技術名の欄 3 枠目

(誤) TS   光波方式を用いた起工測量/出来形管理技術 (土工)

(正) TS 等光波方式を用いた起工測量/出来形管理技術 (土工)

(訂正箇所) 下巻 1872 ページ ICT 活用工事 (土工) 試行積算要領 第 6 標題

(誤) 第 6 施工者希望型における変更積算方法

(正) 第 6 受注者希望型における変更積算方法